

# プログラム

総合司会：湯村和子（国際医療福祉大学病院予防医学センター・腎臓内科）

13:00 開会

---

13:00～13:30 講演 1

---

血管炎の治療の基本 ―寛解導入療法その後の維持療法はどうするの―  
湯村 和子（国際医療福祉大学病院予防医学センター・腎臓内科）

13:30～14:00 講演 2

---

血管炎における IVCY の使用の仕方と AZ  
杉原 毅彦（東京都健康医長寿医療センター膠原病リウマチ科）

14:00～14:30 講演 3

---

血管炎における血漿交換療法の有用性  
板橋 美津世（東京女子医科大学腎臓内科）

14:30～15:00 講演 4

---

1. 血管炎治療の適用になったリツキシマブ  
猪原 登志子（京都大学医学部附属病院臨床研究総合センター早期臨床試験部）
2. 腎疾患でのリツキシマブ治療の経験  
板橋 美津世（東京女子医科大学腎臓内科）

15:00～15:30 講演 5

---

大量 $\gamma$ グロブリン療法：血管炎に対する IVIG 療法  
猪原 登志子（京都大学医学部附属病院臨床研究総合センター早期臨床試験部）

15:30～16:00 講演 6

---

感染対策  
伊藤 千春（自治医科大学腎臓内科）

16:00～17:00 トピック

---

1. ANCA 関連血管炎における EPA による寛解維持療法の意義  
平橋 淳一（慶應義塾大学医学部血液浄化・透析センター）
2. 血管炎における免疫抑制薬の選択 ―ミゾリビン―  
湯村 和子（国際医療福祉大学病院予防医学センター・腎臓内科）

17:00～17:30 討論

---

17:30～18:30 交流会・意見交換会

---